

山形県感染症発生動向調査

令和元年第20週(5月13日~5月19日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/

2019年5月22日 発行



<定点把握感染症>

~正点尤佐您架 须												0	:警幸	レベル	0	:注意	報レベ	ル		
疾患名	全国	山	形,	Į	山形	市保健	脈	村山	山保健	所	最上	保健	所	置則	易保健	所	庄内	保健	所	累積(県)
	第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第1~20週
インフルエンザ 定点 (定点	医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)		
インフルエンザ	3636 0.74	29 0.63	76 1.65	Δ	5 0.50	5 0.50		0.80	2.30	Δ	1.00	1 0.25	•	11 1.22	44 4.89	Δ	0.08	3 0.23	Δ	12631
小児科定点 (定点	医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)		
RSウイルス感染症	792 0.25	6 0.20	15 0.50	Δ		1 0.17	Δ		4 0.57	Δ				6 1.00	1.33	Δ		2 0.25	Δ	152
咽頭結膜熱	1545 0.49	21 0.70	0.13	∇	0.17		∇	8 1.14	2 0.29	∇				10 1.67	0.33	∇	2 0.25		∇	215
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5977 1.89	82 2.73	161 5.37	A	16 2.67	40 6.67		22 3.14	30 4.29		7 2.33	20 6.67	Δ	29 4.83	56 ©9.33		1.00	15 1.88	Δ	2294
感染性胃腸炎	16543 5.23		312 10.40		31 5.17	97 16.17	A	56 8.00	9.00	A	3.33	26 8.67	Δ	48 8.00	55 9.17	A	33 4.13	71 8.88	A	4320
水痘	1511 0.48	24 0.80	11 0.37	∇	3 0.50	3 0.50		14	2 0.29	∇		3 01.00	Δ	5 0.83	1 0.17	∇	2 0.25	2 0.25		227
手足口病	1304 0.41	4 0.13	10 0.33	A	0.17	8 1.33	A		0.14	Δ	0.33	0.33					2 0.25		∇	124
伝染性紅斑	2163 0.68	20 0.67	34 1.13	Δ	10 1.67	14 ©2.33	A	2 0.29	8 1.14	Δ	1.33	6	A	3 0.50	4 0.67	Δ	0.13	2 0.25	A	913
突発性発しん	1418 0.45	19 0.63	16 0.53	∇	2 0.33	3 0.50	A	7 1.00	5 0.71	∇	2 0.67	0.33	∇	4 0.67	4 0.67		0.50	0.38	∇	300
ヘルパンギーナ	295 0.09																			11
流行性耳下腺炎	313 0.10		2 0.07	Δ		0.17	Δ								0.17	Δ				24
眼科定点 (定点	医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)		
急性出血性結膜炎	7 0.00				***************************************	***************************************		***************************************				***************************************					***************************************			
流行性角結膜炎	489 0.70	2 0.25	2 0.25					1 0.33		∇		2 2.00	Δ				1 0.50		∇	60
基幹定点 (定点	医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	260 0.55	5 0.50	5 0.50		5 2.50	5 2.50														52
クラミジア肺炎																				
マイコプラズマ肺炎	49 0.10	0.10	0.10		1 0.50	1 0.50														35
細菌性髄膜炎	8 0.02																			3
無菌性髄膜炎	7 0.01																			4

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	1(村山1)	
百日咳	5(山形市2、村山2、 庄内1)	ワクチン接種歴:4回 4人、 不明 1人。 ※内、第19週追加報告 1人。
つつが虫病	1(最上1)	

<通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型8件、B型68件です。

集団発生の報告は、山形市保健所1件(高校:1)、置賜 保健所1件(幼稚園・保育所:1)

※トピックスで、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報l	注意報							
大忠	開始	終息	レベル						
インフルエンザ	30	10	10						
咽頭結膜熱	3	1	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-						
感染性胃腸炎	20	12	_						
水痘	2	1	1						
手足口病	5	2	_						
伝染性紅斑	2	1	_						
ヘルパンギーナ	6	2	_						
流行性耳下腺炎	6	2	3						
急性出血性結膜炎	1	0.1	_						
流行性角結膜炎	8	4	_						

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については 別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

〈定点把握感染症 報告患者数 年齢別〉

ハフルナン、ゼウト	a.54 B	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10。114年	15~10生	20~29歳	
インフルエンザ定点	~57H	~117Л	一一		3 成	1.51	3 成	0 成		8 成	9 成	10~14成	15~19尿	20~29成	
	1	2	1	5	9	6	11	4	9	4	1	11	7	1	
インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									合計
	3		1												76
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症	3	6	2	2	1	1									15
咽頭結膜熱		1	1	1		1									4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	5	13	13	16	18	18	23	14	22	16	1	1	161
感染性胃腸炎	5	39	65	37	34	26	30	12	11	16	9	20	2	6	312
水痘	2		1		1	1	2	1	1		1	1			11
手足口病		1	4	2	3										10
伝染性紅斑			1	5	4	3	8	1	5	5	1	1			34
突発性発しん		6	7	1	2										16
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎								1				1			2

< 平成31年4月 月報 >

2019年5月15日 発行

疾患名			彡県	山 形 市保 健 所	村 山保健所		最 上 保健所	置 賜保健所	庄 内保健所	累積(県)	
			4月	3月 4月	3月	4月	3月 4月	3月 4月	3月 4月	1~4月	
STD定点 (定点图	医療機関数)	(1	0)	(3)	(1)		(1)	(2)	(3)		
性器クラミジア感染症	報 告 数	16	10	3	6	1	1	1 3	9 2	53	
注命グラミング総条症	定点当り	1.60	1.00	1.00	1.50	1.00	1.00	0.50 1.5	0 3.00 0.67	53	
性器ヘルペスウイルス	報告数	8	9		3		4 3	1 5	1	36	
感染症	定点当り	0.80	0.90		0.75		4.00 3.00	0.50 2.5	0.33	30	
尖圭コンジローマ	報告数	1	1		1	1				6	
	定点当り	0.10	0.10		0.25	1.00				6	
壮 	報告数	6	2	1		1		3	3	1 /	
淋菌感染症	定点当り	0.60	0.20	0.33		1.00		1.50	1.00	14	
基幹定点 (定点图	基幹定点 (定点医療機関数)			(2)	(2)		(1)	(2)	(3)		
ペニシリン耐性	報告数	4	4				1		4 3	20	
肺炎球菌感染症	定点当り	0.40	0.40				1.00		1.33 1.00		
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	17	2	6	4	2		11 9	78	
	定点当り	1.70	1.70	1.00	1.50	2.00	2.00		3.67 3.00	/δ	
蓝刘孟州经理古成为广	報告数										
薬剤耐性緑膿菌感染症	定点当り										

<トピックス>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報

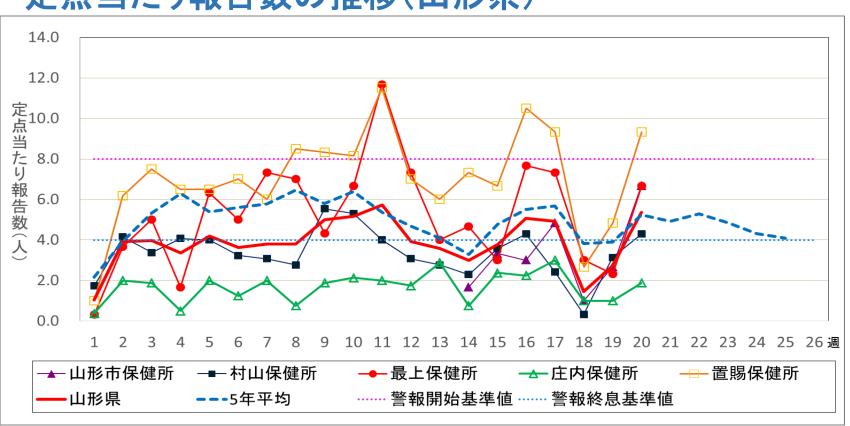
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が、全地区で 前週より増加し、置賜地区で警報レベルとなっています。

|・第20週 定点当たり報告数 (山形県:5.37人)

山形市保健所: 6.67人、村山保健所: 4.29人、最上保健所: 6.67人 置賜保健所: 9.33人、庄内保健所: 1.88人

※警報開始基準値:8 警報終息基準値:4

・定点当たり報告数の推移(山形県)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、山形県では主に冬から初夏にかけて流行します。 《症状》

2~5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)と、喉の赤みで発症します。喉の腫れ、上あごの点状出血や、舌に赤いプツプツが現れる苺舌(写真1)などの症状がみられることもあります。通常、熱は

3~5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。

《感染経路と予防法》

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れることにより感染するため、予防には、手洗いや咳エチケット等の一般的な予防法が大切です。



写真1. 典型的な苺舌 (国立感染症研究所HPより)